

2023 年 3 月 14 日第 154 回運輸政策コロキウム（山下主任研究員）

奥田専務 開会挨拶

紹介がありました、専務理事で、アセアン・インド地域事務所長の奥田でございます。

本日は、アセアン・インド地域事務所、AIRO の山下主任研究員によります

「アセアンにおけるエアライン戦略の分析」と題するコロキウムを開催いたしましたところ、多くの皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

私共、運輸総合研究所では、一昨年、2021 年の 4 月に、ワシントンに次いで 2 か所目の海外拠点となる「アセアン・インド地域事務所」、AIRO をタイ王国バンコクに開設し、コロナ禍で日タイ間の往来もままならない中、「スタートアップシリーズ」と題して、鉄道、航空、港湾、物流、観光、といったテーマについてオンラインで皆様に情報発信を行ってまいりました。

航空につきましては本日の発表者である山下主任研究員が、一昨年 11 月、「ASEAN から見る航空 NOW！～コロナ禍の先の空の世界～」というテーマで、アセアンの航空分野の動向と将来展望について情報提供させて頂いたところでございます。

経済発展が著しいアセアンの航空市場は、航空関係者の皆さまも関心を寄せられている分野ではないかと思いますが、その市場は 2000 年代初頭には Low Cost Carrier、LCC が参入して以来、LCC の戦略の影響を大きく受けてきたとされています。

そこで、今回のコロキウムでは最初にコロナ禍前のアセアンにおけるフルサービスキャリア、FSC と LCC の主要エアラインの変遷とその戦略、また、最近の航空需要の回復状況、その背景、今後の方向性についての考察を発表させていただきます。

その後、東京工業大学の花岡教授からコメントをいただき、山内所長をモデレー

ターとしてディスカッション、質疑応答をさせて頂きたいと思います。

国際的な人的往来の回復が進むなか、本日のコロキウムが、コロナ後を見据えた日アセアン航空市場における取組みの手がかりとして、皆様にとりまして有益なものとなりますことを期待しております。

さて、コロナ感染症につきましては、昨日、マスクの着用指針が改められ、5月には感染症法上の位置づけが見直されるなど、前回の山下主任研究員の発表のサブタイトルでありました「コロナ禍の先の世界」が現実的なものとなってきております。

AIROでも、さる2月22日、バンコクで開設記念シンポジウムを開催し、会場に多くの皆様にご来場いただきました。また、6月にも同じくバンコクで、物流関連のシンポジウムを開催したいと考えております。

AIROは、今後とも、アセアン・インド地域におけます調査研究活動にしっかり取り組んで参りますので、皆様方の引き続いてのご指導、ご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

以上、簡単でございますが、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞ、宜しくお願い致します。